

代表質問

県民生活の課題質す

一般質問

第三回定例会では、代表質問に三人、一般質問に九人の議員が登壇し、県民の生活にかかわる県政の課題について提言や質問を行い、関係当局に答弁を求めました。

への金融支援策、農業改革の基本方向と推進策、常陸那珂港の利用促進策、痴呆性高齢者対策、筑西幹線道路の整備、民間委託の推進、ひたちなか地区開発における土地利用の具現化などについて質問がありました。

の考え方、学校図書館のサービスの充実、小山ダム周辺の環境整備、葉たばこ生産の振興、茨城の将来を担う子ども達が育つ環境づくり、県第三次行財政改革大綱の民間委託ガイドラインの策定期間、百里飛行場民間共用化の開港スケジュールに合わせた事業推進の考え方と整備状況、チーム・ティーチングの推進、本県経済再生のための重点施策などについて質問がありました。

知事一〇年の実績評価は

県勢は着実に発展

議員(自民) 知事は就任して一〇年になる。財政事情の厳しい中、堅実確かな行財政運営を遂行して県土の基盤整備は仕上げの段階を迎え、これから知事のカラリを打ち出す時期と期待するが、一〇年の実績の評価、現在の県政の課題及び今後の展望を伺う。

今後、活力ある住みよい地域社会の創造等の課題に対応し、二一世紀が茨城の時代となるよう全力で取り組んでいく。

議員 三位一体改革の道筋を示す「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」において、課税自主権の拡大がうたわれている。本県の法定外普通税である核燃料等取扱税の期限は平成一五年度末であるが、どう対応するのか。

知事 今年度中に新たな条例を制定し、平成一六年度以降も引き続き課税を行うていくのか。

知事 従来の制度融資に加え、赤字決算や債務超過で新規融資が受けられないが事業内容に将来性があり再生が見込まれる中小企業を対象として「中小企業再生支援融資」を創設する。

議員 農業生産が他県と比較して大きく落ち込んでいる現状に対し、「いばらき農業改革研究会」から、施策の仕組みを生産現場提案型へ転換するという改革の基本方向や具体的な推進方策が提言されたが、県はこれをどう受けとめ、実現を図っていくのか。

知事 「買ってもらえる米産地づくり」への転換、大規模園芸産地の育成、品質の向上と販売力の強化等を重点的に推進するとともに、地域農業のリーダー二〇〇〇名を農業改革推進員として委嘱して改革の趣旨と方向の周知徹底を図る。

議員 常陸那珂港は、北関東自動車道と直結した二一世紀の新しい国際物流ターミナルとして早期完成に大きな期待が寄せられている。安全で使いやすい港づくりを進めるとともに、取扱貨物量を増やし、航路を充実し、利用を促進する

とが必要と考えるが、今後、常陸那珂港の利用を促進するための方策について伺う。

知事 安全かつ効率的で使いやすい港づくりについては、年間を通じた二四時間サービスの提供や港湾関連手続きのワンストップ化、保安対策の強化に加え、北関東自動車道早期全線開通の促進、高速道路料金割引の実験等を行う。また、航路の充実については民間の専門家を港湾振興アドバイザーとして起用するなどの取り組みを進めていく。

(ほかに、県施設の管理委託、霞ヶ浦の諸問題、道徳教育の推進なども質問)

代表質問(要旨)

葉梨 衛(自由民主党)

江田 隆記(自民県政)

細田 武司(民主清新)

(2-3面)

質問者



一般質問(要旨)

(2-5面)

質問者

- 白田 信夫(自由民主党)
鈴木 孝治(公明党)
小田木真代(自由民主党)
藤島 正孝(自由民主党)
長谷川典子(自民県政クラブ)
福地源一郎(自由民主党)
荻津 和良(自由民主党)
細谷 典幸(自由民主党)
澤畠 俊光(自由民主党)

高品質米生産モデル圃場設置

目に見える農業改革は

議員(自民) 県北、県央、鹿行、県南、県西の各地域に、一ヘクタール規模の高品質な米づくりモデル圃場を設置し、目に見える形で示すことが農業改革の第一歩につながると考える



を伺いたい。

知事 主産地を中心に大規模な高品質米生産モデル圃場を設置するとともに、農業団体とも連携して、県内各地域で同様のモデル圃場を設置し、栽培研修会や現地検討会に活用するなど、高品質米生産技術の普及定着を図っていく。

議員 住宅に関する開発許可基準制度は、複雑で分かりにくく、ライフスタイルの変化によるさまざまな住宅需要にも対応しきれっていない。制度の簡素化並びに見直しの有無、また、その基本的な考え方について伺いたい。

土木部長 基準の簡素化と合わせて、既存集落の特性や良好な自然環境を志向する宅地需要などを踏まえて基準を再検討し、開発許可制度の確かな運用を図っていく。(ほかに、本県園芸の振興、いばらきヘルスロードなども質問)